

捨てない

選択

地球のために、未来のために、できること

食品ロスの削減やペットボトルのリサイクル。日々の暮らしの中で、皆さんはどれくらい意識していますか？
ごみや無駄を減らし資源の節約につなげていくために、私たちができることを考えます。



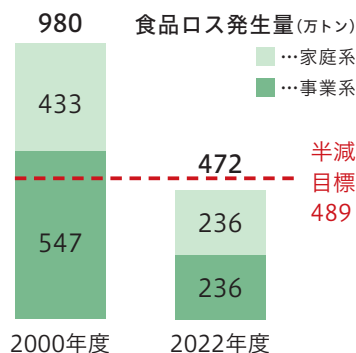
捨てない未来を
見てみよう



食品ロス削減 国の全体目標初達成

本来食べられるものが廃棄される「食品ロス」。国は、2000年度の年間約980万トン、2030年度までに半減させることを目標に掲げています。

先日発表された2022年度の推計値は472万トンで、2030年度までとしていた目標を初めて達成したことが分かりました。しかし内訳を見ると、商品の売れ残りや外食での食べ残しなど、事業系食品ロスが目標値273万トンを下回ったのに対し、家庭系は、前年度から8万トンの減少にとどまり、目標値216万トンに達しておらず、家庭での食品ロス削減が求められています。



日本はペットボトル リサイクル先進国

日本はペットボトルのリサイクルに関して、94・4%の回収率※と、86・9%のリサイクル率※を誇る世界有数の先進国です。これまで、回収されたペットボトルの多くはトレイや卵のパック、衣料品など別の用途向けに加工されたり、資源として海外に流出したりしていましたが、近年、新たな取り組みが進められています。

持続可能な消費と生産 私たちにできることは

持続可能な開発目標（SDG）の1つ、持続可能な消費と生産のパターンの確保。これを達成するために、私たちができることは何でしょうか？ 町が推進しているペットボトルのリサイクル、町内に研究製造施設を構える企業が製造する環境に優しいストロー、町内のお店が実施しているフードドライブから読み解きます。

※2022年度の数値（出典…PETボトルリサイクル推進協議会PETボトルリサイクル年次報告書2023）